

中学生年代のスポーツ指導の安全管理
-法的責任と事故補償について-

理解度チェック

第1問

国公立学校の部活動中の事故に関して、顧問教員（公務員）が、故意又は過失によって生徒らに損害を加えたときに、国や公共団体の賠償責任について規定されている法律名を答えて下さい。

- ①公共賠償法
- ②損害賠償法
- ③学校教育法
- ④国家賠償法

第2問

部活動などを指導する際に、学校や顧問教員は生徒の安全に気を配り、事故や怪我をしないようにする義務が生じます。この義務の名称を答えて下さい。

- ①事故防止義務
- ②安全配慮義務
- ③危険配慮義務
- ④学校責任義務

第3問

中学生年代のスポーツ指導全般において、指導者が生徒に加えた損害を学校法人や株式会社（スポーツクラブを経営する）などが賠償責任を負います。この民法715条で定められた責任を何というか答えて下さい。

- ①使用者責任
- ②経営者責任
- ③法人責任
- ④指導者責任

第4問

部活動中の死亡事故などでは、刑法211条によって「業務上必要な（　）を怠り、よって人を死傷させた者は、5年以下の懲役もしくは禁固又は100万円以下の罰金に処する」と定められています。（　）に入る語句を答えて下さい。

- ①指導
- ②監督
- ③管理
- ④注意

第5問

労働災害などの事故に関する「ハインリッヒの法則」では、重大な事故1件の背後には、軽微な事故が（ア）件、事故ではないが「ヒヤリしたり、ハツとしたりする危険な状態」が（イ）件も隠れているとしています。（ア）と（イ）に入る数字の組み合わせを選んで下さい。

- ①4：50
- ②29：300
- ③25：100
- ④200：40

答え 第1問:④ 第2問:② 第3問:① 第4問:④ 第5問:②